

第 61 回「協同教育研究会」開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学 文学部)

寒さが本格的になり雪の便りも聞かれるようになりました。今朝、久留米でも雪が舞いましたが、皆さんお元気でしょうか。あっという間に12月も残り僅かになってきました。ご多用の日々を送られていると思います。

さて、第61回「協同教育研究会」の準備が整いましたのでご案内申しあげます。詳しい内容は下記の通りです。皆さんの参加をお待ちしています。参加を希望される方は、協同教育研究所のホームページ（HP）から申込をお願いします。これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も歓迎します。

*

今回は、長野県立大学の馬場智一先生をお招きして「哲学対話」についての研修を開催します。最初に「哲学対話」についての解説を伺った後に、実践を通して理解を深めます。詳細は下記をご覧ください。

本研究会は久留米大学比較文化研究所の後援を受けています。また、初年次教育学会の「初年次教育実践交流会」、日本協同教育学会の「九州地区研究会」、全国個集研の「支部研究会」としても認めていただいています。関係団体各位のご理解とご支援に深く感謝申し上げます。なお今回の研究会は科学研究費の支援もを受けています（代表・安永悟、課題番号 24K06274、テーマ：グループ学習苦手学生の特性と指導法 -LTD授業モデルと不確定志向性の観点から）。

記

- 1. 日 時** : 研究会・2025年3月1日(土) 13時30分～17時10分
- 2. 場 所** : 久留米大学御井本館3階 13BC 教室
キャンパスで一番大きな建物の3階です。
<http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html>
- 3. 参加資格** : 協同教育（学習）および「協同」一般に関心のある方
- 4. 参加申込** : 協同教育研究所「結風」のHP (<http://yuikaji.me/>) の「イベント参加受付」からお願いします。記入にあたっては（注意）を参考にしてください。
(注意) ・ イベント名 : 「協同研61回」 ・ イベント開催日 「2025/3/1」
・ 携帯電話番号はハイフンなしで。例 「09012345678」
・ 返信がない場合は下記「問合せ先」まで連絡ください。

5. 研究会のテーマ： 「学び合い苦手学生」

本研究会では、いわゆる「学び合い苦手学生」の視点から協同による教育指導のあり方について数年前より検討を続けてきました。とくに協同的な学びに強い拒否感を示す学生の存在をクローズアップし、その拒否感の実体や形成過程、さらには克服過程を検討してきました。そのなかで「哲学対話」に出会いました。「哲学対話」を知り、検討課題解決への取り組みの一つとして、講師の馬場先生が下記ワークショップの内容で指摘されているように「日常の動線に対話的な活動を埋め込む」ことが大切だと考えるようになりました。その延長線上に仲間との学び合いを位置づけることにより、これまで学び合えなかった学生が苦手意識や拒否感を手放し、仲間と学び合えるようになるのではないかと期待をもちています。授業や演習などでの「学び合い」や職場での「話し合い」がうまく展開していないと感じる人もいるかと思いますが、皆さんと一緒に「対話」を深めたいと思います。

6. 研究会の内容

(1) 挨拶・導入

10分 (13:30-13:40)

- a. 担当： 安永 悟（久留米大学・文学部）
- b. 内容： 挨拶・講師紹介

(2) ワークショップ「哲学対話」

205分 (13:40-17:05)

- a. 講師： 馬場智一（長野県立大学グローバルマネジメント学部・教授）
- b. 内容： 哲学対話は、普段改めて考えない当たり前のことについて、問いを立て、複数人数で話し合い、問いへの答えや新たな問いを発見する活動です。日本では10年ほど前から哲学カフェや学校での対話などの形で広がっています。このワークショップでは、まず哲学対話の歴史、実践形態、理論について解説をします。

哲学対話では身体的・心理的・知的安全性を確保することが重要です。関心のある人が集まる哲学カフェと違い、学校・授業での哲学カフェはしばしば動機づけや心理的・知的安全性を確保することが、学校という制度の性質上困難なことがあります。哲学対話を成立させるためには、普段の授業や学校生活の中で、経験や感情の言語化とそれを互いに聞き合うこと、言葉や論理に関わる簡単なゲームを行い、「日常の動線に対話的な活動を埋め込む」ことが大切です。解説の次は、そのための簡単なゲームを何種類か実践します。

続いて、グループごとに問いを出し、哲学対話に向いている問いを選び、一定のルールやコツに基づき哲学対話をグループごとに行います。最後に、ワークと対話を振り返り、今回体験したことを、自分の現場でどう活かせるか話し合います。

- c. 方法：
 - ①自己紹介 (10)、 ②解説 (40)、
 - ③「一歩手前ワーク」すごろく、理由ある反論、接続詞ゲーム、20の質問 (50)
 - ④問い出し (20)、 (休憩15) ⑤哲学対話 (40)、 ⑥振り返り (10)、⑦協議 (20)

○注意：研修は正味190分。括弧内の数字は時間(分)

(3) 閉会

5分 (17:05-17:10)

7. 情報交換会（懇親会）のお知らせ

研究会終了後、下記の要領で情報交換会（懇親会）を開催します。

参加希望者は上記「4.参加申込」と合わせて2月21日（金）までに、協同教育研究所「結風」のHPから申し込んでください。

場所：久留米大学御井学舎学生会館2階・レストラン「櫛（けやき）」

時間：18時00分~20時00分

会費：4,500円

(注意) 直前の取り消しには応じかねます。参加されなくても参加費を徴収することがありますので、予めご了承ください。

問合せ先：ご不明な点があれば、次までお願いします。

office@yasunaga.me

以上